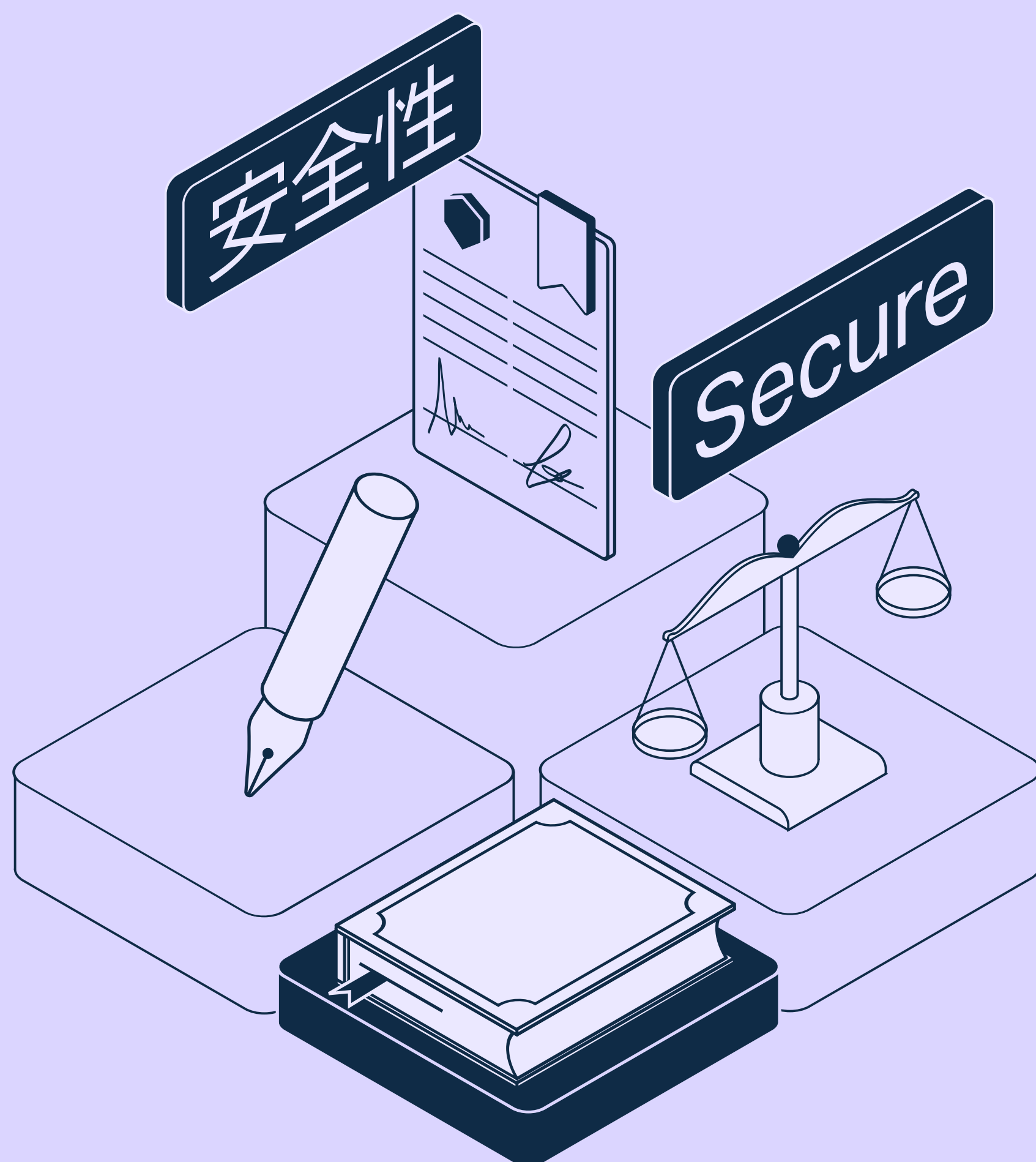


公共機関の信頼を支える言語AI

公共機関向け
セキュリティーと法令遵守重視の
AIツール選定ガイド



公共機関に求められる 効率化と“信頼できるAI”

公共機関において少子高齢化による人材不足は慢性的な課題となっていますが、業務効率化を助けるAIツールの導入には進んでいないのが現状です。現在、AIツールを日常的に活用している公共機関の職員はわずか23%にとどまっています¹。

現段階で公共機関がAIツールの導入に消極的なのはどのような懸念があるからでしょうか。

業務効率を劇的に向上させるAIツールが脚光を浴びる中、多くの公共機関ではAIツールの安全性やコスト面での確証を得ることが足枷となり、導入に至っていません。公共機関の管理職のうち60%が、法律や規制の壁からAIの広範な活用には慎重にならざるを得ないと答えています¹。

こうした懸念はリスクそのものにとどまらず、透明性やアクセス管理、適切な導入・運用など幅広い範囲にわたります。公共機関はサービスの利用者に対して説明責任を負うため、個人情報保護や明確な監視体制を整えたうえで、厳格な規制に準拠したツールを選定する必要があります。

なかでも、機密性の高い文書の多言語化や、ニュアンスも含めた高い翻訳精度を誇る言語特化型AIは、取り扱う情報の機密性ゆえ信頼性の高いAIツールの要件を把握することが極めて重要になります。



本ガイドは、AIツールを評価する際に考慮すべきセキュリティーや法令遵守の重要ポイント、および業務の効率化に言語AIをいかに活用できるか、信頼性と安全性の観点から展開します。

¹Public First “AI & the Public Sector” 2024年

AIツールの安全性評価

言語AIを選定する際に、重要な項目の1つはセキュリティーです。自社と顧客のデータをリスクから守るためにも、高いセキュリティー要件をクリアすることは不可欠です。

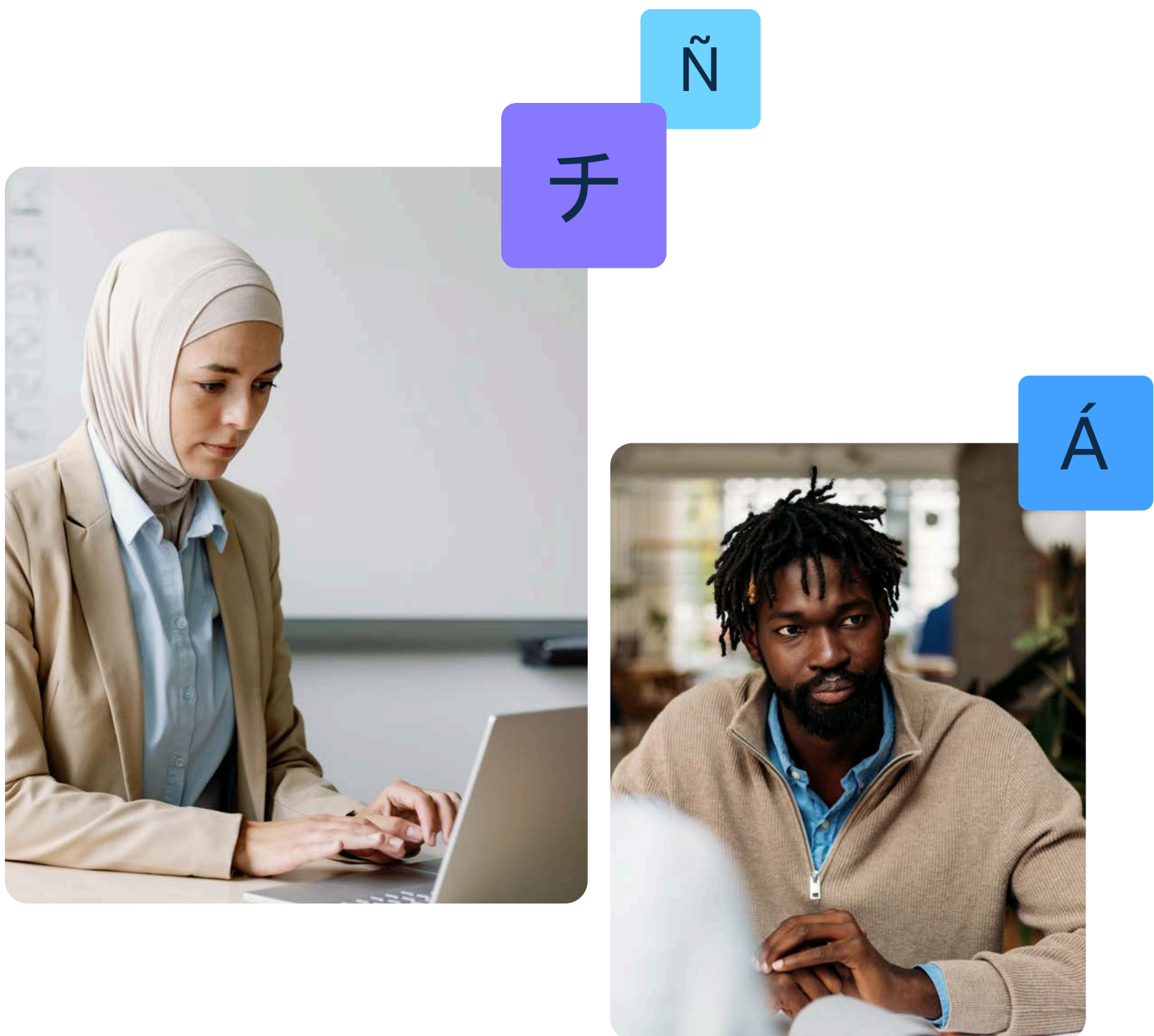
求められる安全性と法規制準拠	DeepLの取り組み	DeepL Pro (有料版)
データ暗号化 暗号化はデータを判読不可能にし、解読するにはキーまたはパスワードが必要です。データが簡単に盗まれたり悪用されるのを防ぎます。EU一般データ保護規則 (GDPR) などの国際的な法規制では、個人情報を実際に保護するために暗号化が義務付けられています。	DeepLでは、顧客データは、転送および処理、保管のいずれの段階でも暗号化されます。また、顧客が独自の暗号化キーを設定し、プラットフォーム上のデータ管理をさらに強化できる追加機能も提供しています*。 *Ultimate、Enterprise版のみ	
EU一般データ保護規則への準拠 EU一般データ保護規則 (GDPR) は日本の個人情報保護法と比較して、より厳密なルールが定められています。これはEUおよび欧州経済領域 (EEA) 内で個人データを取り扱う世界中の組織に適用されます。	DeepLはEU一般データ保護規則に準拠しており、高水準のデータ保護とプライバシーを確保しており、世界中の様々な企業から高い信頼を寄せられています。	

求められる安全性と法規制準拠	DeepLの取り組み	DeepL Pro (有料版)
<p>法令遵守</p> <p>ISO 27001およびSOC 2 Type 2 は、情報セキュリティーマネジメントおよびデータ保護に関する国際的に認められた規格です。</p> <p>ISO 27001は情報セキュリティーシステムに関する国際規格で、情報セキュリティーシステムにマネジメントシステムを確立し、運用していることを証明します。SOC 2 Type 2は、組織のセキュリティーや機密性、プライバシーに関する内部統制の運用状況を評価します。</p>	<p>顧客データの安全性確保はDeepLにとって最優先事項です。グローバルセキュリティー基準に完全に準拠しており、システムのセキュリティー、可用性、機密性は常に優先しています。</p> <p>DeepLはISO 27001および、SOC 2 Type 2の認証を取得しており、データ保護に関する国際的な認証を受けています。</p> <p>さらに、潜在的なセキュリティーリスクを迅速に特定・対処するために、定期的に侵入テストを実施してシステムの強靱性向上に努めています。</p>	
<p>シングルサインオン (SSO)</p> <p>シングルサインオン (SSO) を使用することで、ユーザーは単一のログイン認証情報を使い複数のアプリやシステムにアクセスすることができます。ログイン情報の失念や脆弱なパスワードの使用といったリスクを減らすことができます。一般的にはOIDC (OpenID Connect) やSAML (Security Assertion Markup Language) などのIDプロトコルを用い、安全かつ一元化された認証を実現します。</p>	<p>DeepLでは安全なアクセス認証を大規模で行えるように、OIDCとSAMLに対応したSSOと役割別のID管理を提供しています。</p>	

求められる安全性と法規制準拠	DeepLの取り組み	DeepL Pro (有料版)
<p>多要素認証 (MFA)</p> <p>MFAは、ユーザーに2つ以上の認証要素の入力を求めることで、ログインにセキュリティー層を追加し、不正アクセスを防ぐためのものです。</p>	<p>DeepLはMFAに対応しており、従業員アカウントのログインセキュリティーを強化できます。これにより、一元的なID管理が導入されていない環境でもチーム全体で安全なアクセスを確保できます。</p>	
<p>ネットワークアクセスの制限</p> <p>ネットワークアクセスの制限は、不正なツールやセキュリティーが確保されていないツールの使用を防ぎます。従業員が会社のセキュリティー方針に基づく、承認済みの環境にのみアクセスできるようにするための対策です。</p>	<p>従業員によるDeepLアクセスを、許可されたライセンスとアカウントを使用する場合に限定できます。これによりITチームはツールの安全な使用を徹底し、コンプライアンスに準拠した全社的な導入を支援できます*。</p> <p>*Ultimate、Enterprise版のみ</p>	
<p>監査ログ</p> <p>監査ログは、システム内でのユーザーの操作履歴を詳細に記録することで、透明性、説明責任、法令遵守を支援するものです。監査ログは、データアクセスを監視し、内部のセキュリティーポリシーや外部基準に対応する監査証跡を維持するうえで、特に重要となります。</p>	<p>DeepLでは、アカウントの削除やアクセスの失敗など、ユーザーが行ったすべての操作を監査ログとして最大3ヶ月分までダウンロード可能です。</p>	

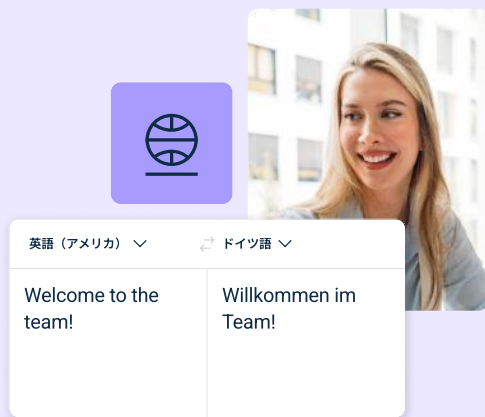
求められる安全性と法規制準拠	DeepLの取り組み	DeepL Pro (有料版)
<p>代理アクセスのコントロール</p> <p>プロバイダーやサポートへの代理アクセス権限の譲渡はユーザーによる同意を必要とします。これにより、アクセス権限のタイミングを自身で決定することができ、プロバイダーの保護や透明性を確保します。</p>	<p>DeepLでは、インターフェース上の簡単な操作でアクセス権をいつでも許可・拒否できます。</p>	

詳細は[DeepLによるデータ保護](#)をご覧ください。



DeepLの言語AIツール

言語特化型AIは、効率化とサービスクオリティの向上を目指す組織にとって最良のソリューションとして評価が高まっています。DeepLは、公共機関が直面する言語の課題に対して、高精度、高速、かつコスト効率に優れたソリューションを提供しています。



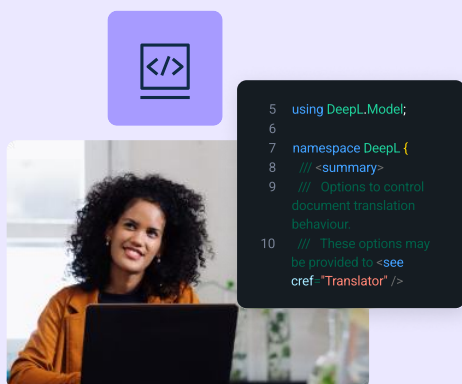
DeepL翻訳

DeepL翻訳は政府や公共・学術機関が、言語の壁を越えて明確かつ分かりやすいコミュニケーションを実現できるよう支援しています。2024年のブラインドテストでは、DeepL翻訳がChatGPT-4、Google、Microsoftを凌駕し、最も自然で質の高い翻訳としてプロの翻訳者に評価されました²。



DeepL Write

DeepL Writeは、伝わりやすく、専門的で文化的にも適切な文書を作成できるよう公共機関の職員をサポートします。文法チェックにとどまらず、スマートな言い換え提案や語調の調整など、さまざまなユースケースに対応した機能も備えています。



DeepL API

官公庁や研究機関はDeepL APIを使用してDeepLの翻訳と校正機能を保有しているプラットフォームに直接連携できます。作業負担が少ないだけでなく、高い業務効率化も実証されているAPIは、業務の多言語化を大規模で行うのに最適です。

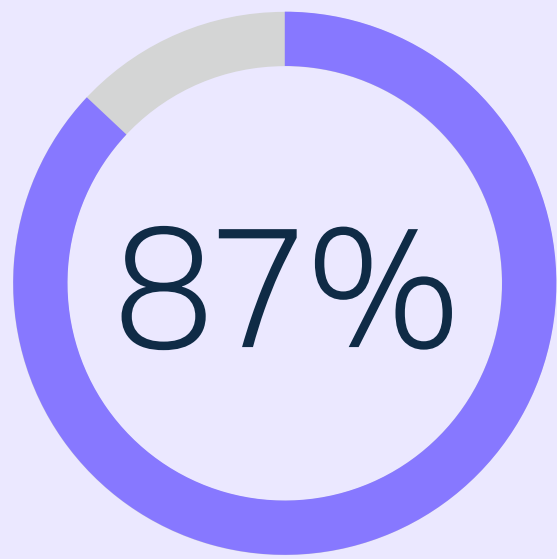


DeepL Voice

DeepL Voice for Meetingsは、オンライン会議で高品質のリアルタイム翻訳を提供。複数言語に一度に対応でき、発言をリアルタイムで指定言語に翻訳できるため、会議への活発な参加、相互理解、情報の共有をこれまでになく容易に実現できます。

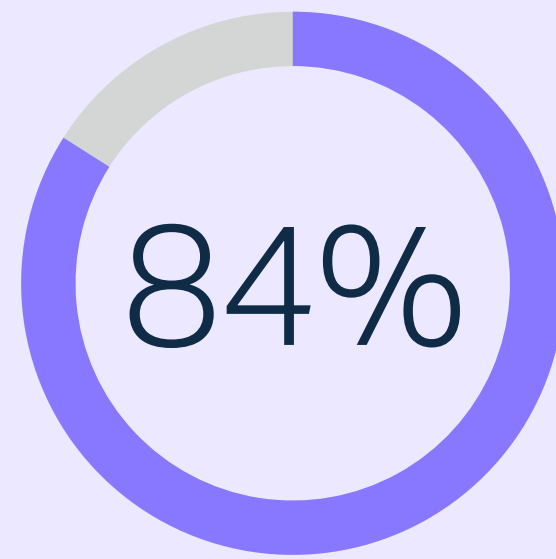
² DeepL "Translation experts weigh in on translation expertise." 2024

作業効率の改善



政府および公共機関職員の95%が、DeepLが作業の効率化に役立っていると回答

高い翻訳精度



政府および公共機関職員の84%が、DeepLの翻訳精度の高さを評価

出典：DeepL政府および公共サービスユーザー調査

DeepLで言語の壁を取り払う

公共機関におけるDeepLの活用事例、言語AIのセキュリティーや精度に関しては、弊社チームまでお問い合わせください。

セールスチームへのお問い合わせ





一般的な免責事項：

本ガイドは手引きであり、特定の目的に対する適合性を保証するものではありません。購入にあたっては、各自で十分に情報をご精査いただくことをお勧めします。DeepLは、いかなる場合においても、本ガイドに記載された内容への依拠に起因または関連して生じたいかなる損失または損害に対する責任を負いません。

著作権の免責事項：

© DeepL SE 2025. All rights reserved.本ガイドの著作権はDeepLに帰属します。いかなる当事者も、複製または二次的著作物を作成することは許可されていません。



お問い合わせはこちら
info@deepl.com